

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成30年7月5日(2018.7.5)

【公表番号】特表2017-524371(P2017-524371A)

【公表日】平成29年8月31日(2017.8.31)

【年通号数】公開・登録公報2017-033

【出願番号】特願2017-514393(P2017-514393)

【国際特許分類】

C 1 2 Q 1/68 (2018.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/04 (2006.01)

A 6 1 K 45/06 (2006.01)

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

C 1 2 Q 1/68 Z N A A

C 1 2 Q 1/68 Z

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 35/04

A 6 1 K 45/06

G 0 1 N 33/50 P

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成30年5月21日(2018.5.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

個体からの試料が M i T バイオマーカーを発現するかどうかを決定する工程を含む、M i T バイオマーカーの発現を決定するための方法。

【請求項 2】

M i T が M I T F である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

M i T が T F E B である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

M i T が T F E C である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

M i T が T F E 3 である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

M i T が S B N O 2 である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

バイオマーカーの存在が、上昇したバイオマーカー発現レベルの存在によって示される、請求項 1 から 6 の何れか一項に記載の方法。

【請求項 8】

一又は複数のバイオマーカーが、M I T転座又は逆位を含む、請求項 1 から 6 の何れか一項に記載の方法。

【請求項 9】

M I T転座が M I T F 転座である、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

M I T F 転座が A C T G 1 と M I T F を含む、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

M I T F 転座が A C T G 1 エクソン 3 を含む、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

M I T F 転座が A C T G 1 エクソン 3 と M I T F エクソン 3 を含む、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 13】

M I T F 転座が配列番号：13 及び／又は 30 を含む、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 14】

M I T F 転座が配列番号：30 を含む、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 15】

M I T F 転座が、配列番号：11 及び／又は 12 からなるか又は配列番号：11 及び／又は 12 を含むプライマーによって検出可能である、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 16】

M I T F 転座が、配列番号：9、10、11 及び／又は 12 からなるか又は配列番号：9、10、11 及び／又は 12 を含むプライマーによって検出可能である、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 17】

M I T F 転座が A C T G 1 プロモーターによって駆動される、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 18】

M I T F 転座が A P 3 S 1 と M I T F を含む、請求項 17 に記載の方法。

【請求項 19】

M I T F 転座が A P 3 S 1 エクソン 3 を含む、請求項 17 に記載の方法。

【請求項 20】

M I T F 転座が A C T G 1 エクソン 3 と M I T F エクソン 3 を含む、請求項 17 に記載の方法。

【請求項 21】

M I T F 転座が A P 3 S 1 プロモーターによって駆動される、請求項 17 に記載の方法。

【請求項 22】

転座が T F E B 転座である、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 23】

T F E B 転座が C L T C と T F E B を含む、請求項 22 に記載の方法。

【請求項 24】

T F E B 転座が C L T C エクソン 17 を含む、請求項 23 に記載の方法。

【請求項 25】

T F E B 転座が C L T C エクソン 17 と T F E B エクソン 6 を含む、請求項 23 に記載の方法。

【請求項 26】

T F E B 転座が配列番号：19 を含む、請求項 23 に記載の方法。

【請求項 27】

T F E B 転座が、配列番号：17 及び／又は 18 からなるか又は配列番号：17 及び／

又は 18 を含むプライマーによって検出可能である、請求項 23 に記載の方法。

【請求項 28】

T F E B 転座が、配列番号：15、16、17 及び／又は 18 からなるか又は配列番号：15、16、17 及び／又は 18 を含むプライマーによって検出可能である、請求項 23 に記載の方法。

【請求項 29】

T F E B 転座が C L T C プロモーターによって駆動される、請求項 23 に記載の方法。

【請求項 30】

転座が S B N O 2 逆位である、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 31】

S B N O 2 転座逆位が M I D N と S B N O 2 を含む、請求項 30 に記載の方法。

【請求項 32】

S B N O 2 逆位が M I D N プロモーターを含む、請求項 30 に記載の方法。

【請求項 33】

S B N O 2 逆位が M I D N プロモーターと S B N O 2 エクソン 1 を含む、請求項 30 に記載の方法。

【請求項 34】

S B N O 2 逆位が配列番号：25 を含む、請求項 30 に記載の方法。

【請求項 35】

S B N O 2 逆位が、配列番号：23 及び／又は 24 からなるか又は配列番号：23 及び／又は 24 を含むプライマーによって検出可能である、請求項 30 に記載の方法。

【請求項 36】

S B N O 2 逆位が、配列番号：21、22、23、及び／又は 25 からなるか又は配列番号：21、22、23、及び／又は 25 を含むプライマーによって検出可能である、請求項 30 に記載の方法。

【請求項 37】

S B N O 2 逆位が C L T C プロモーターによって駆動される、請求項 30 に記載の方法。

【請求項 38】

M i T 転座が、上昇した M E T の発現レベルを生じる、請求項 1 から 37 の何れか一項に記載の方法。

【請求項 39】

M i T 転座が、上昇した M E T の活性及び／又は活性化を生じる、請求項 1 から 38 の何れか一項に記載の方法。

【請求項 40】

M i T 転座が、上昇した B I R C 7 の発現レベルを生じる、請求項 1 から 39 の何れか一項に記載の方法。

【請求項 41】

M i T 転座が、上昇した B I R C 7 の活性及び／又は活性化を生じる、請求項 1 から 40 の何れか一項に記載の方法。

【請求項 42】

転座が体細胞転座である、請求項 1 から 41 の何れか一項に記載の方法。

【請求項 43】

転座が染色体内転座である、請求項 1 から 42 の何れか一項に記載の方法。

【請求項 44】

個体におけるがんを治療するための医薬であって、有効量の M i T アンタゴニストを含み、治療が、M i T 過剰発現を含むがん罹患した個体に基づく、医薬。

【請求項 45】

個体における n c c R C C を治療するための医薬であって、有効量の M i T 転座アンタゴニストを含む医薬。

【請求項 46】

がん又はがん細胞がM i T転座を含む、請求項 45 に記載の 医薬。

【請求項 47】

がん又はがん細胞がM i T過剰発現を含む、請求項 45 に記載の 医薬。

【請求項 48】

がん又はがん細胞がB I R C 7過剰発現を含む、請求項 45 に記載の 医薬。

【請求項 49】

個体からの試料がM i Tバイオマーカーを発現するかどうかを決定する手段を含む、M i Tバイオマーカーの発現を決定するためのキット。